

ニュース専修

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

専修大学ホームページ
https://www.senshu-u.ac.jp/

主なニュース

- ③ 経営・森本ゼミ、新潟「大地の芸術祭」で演劇祭運営
- ④ 【会計教育100周年】菱山教授ドイツで在外研究
- ⑤ MOS世界学生大会代表選考 小林さん(文2)入賞
- ⑥ 2017年度卒業就職希望者就職率6年連続増96.9%
- ⑦ 夏期休暇中の無事故を願って 阿藤正道学生部長
- ⑧ 石巻専修大学 経営・益満ゼミが網地島紹介サイト
- ⑨
- ⑩

西日本豪雨、大阪北部地震で被災された皆様へ

被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。専修大学は、被災された学生と保護者の皆様に対して、安心して学業が継続できるように、支援を行っております。左記の各担当部署にご相談ください。
*詳細は専修大学ホームページでご確認ください。

- ▽神戸学生生活課 ☎044・911・1267
- ▽神戸学生生活課 ☎03・3265・6824
- ▽神戸学生生活課 ☎03・3265・83509
- ▽神戸学生生活課 ☎03・3265・6824
- ▽神戸学生生活課 ☎044・911・1271
- ▽神戸学生生活課 ☎03・3265・68091
- ▽神戸学生生活課 ☎03・3265・65688
- ▽神戸学生生活課 ☎03・3265・65688
- ▽神戸学生生活課 ☎03・3265・65688
- ▽神戸学生生活課 ☎03・3265・65688

タイの大学と初の国際交流協定

UTCC 交換留学など推進

専修大学はタイ商工会議所代表小林守商学部教授(UTCC)が2015年に国際交流組織協定を結んでおり、研究調査や共同シンポジウムなどを実施、タイの大学との協定は初めて。本学の国際交流協定は18カ国・地域の24大学、国際交流組織間協定は4カ国1機関となった。(6月30日現在)

UTCCとは、同大学の経済ビジネス予測センターと本学の社会知性開発研究センター/アジア産業研究センター(研究)が共同で、研究調査や共同シンポジウムなどを実施、密接な関係をつくってきた。

小林教授は「アジア産業界の研究を進めていく上でタイの大学との研究交流は重要である。今後、交換留学など幅広い大学間交流が期待できる」と話している。

主な交流内容は▽研究、講義などの学術訪問



UTCCで行われたアジア産業研究センターの国際シンポジウム =2017年9月

保育士の労働実態調査 経済・兵頭ゼミ 市民団体と共同



調査結果を発表する江崎さん(左)兵頭ゼミの学生

社会政策・労働問題に頭厚史ゼミは、川崎市内について学ぶ経済学部・兵頭の認可保育所で働く保育士らを対象にアンケートを行い82園、772人から回答を得た(回収率24.4%)。ゼミ生27人が調査、分析に当たった。正職員の基本給は25万円以下が6割以上と多く、非正規雇用の8割が

さら職員を対象にアンケートを実施、労働実態を明らかにした。6月14日、川崎市役所で記者発表された。アンケートの結果からは厳しい労働環境が浮かび上がり、ゼミ生らは「働く環境の整備が必要」と訴えた。

調査は弁護士、研究者、NPO関係者などをつくる市民団体「川崎市保育問題交流会」と共同で昨年実施。市内の認可保育所316園で働く職員を対象にアンケートを行い82園、772人から回答を得た(回収率24.4%)。ゼミ生27人が調査、分析に当たった。正職員の基本給は25万円以下が6割以上と多く、非正規雇用の8割が

時給1200円以下だった。残業は約7割が「ほぼ毎日」時々あると答えたが、残業代が支給されていないのはそのうちの3割で、2割は支給された。市民団体の方と一緒に取り組むことで、学生たちは広い視野を持つことができたようだ」と話した。

9月22日(土)13時から報告会とティスカツション「学生が市民と共に調べた保育状況」が川崎市男女共同参画センター(経済4)は「保育の労働問題は漠然と知っていたが、今回の調査で、保育に関わる人の待遇がよくわかった。子どもたちが安全に楽しく過ごす場にするためには、働く状況を改善しなければならぬ」と痛感したと話した。



UTCCのキャンパスビルバンク

UTCCはバンコク市にある私立の文科系総合大学。タイ商工会議所を母体とする調査部門が独立し、1984年に大学教育機関として誕生した。

国内のビジネス分野の教育機関として評価が高く、同分野の私立大学では人気を誇っている。学生は約2万人。会計、経済、人文、科学、コミュニケーションアート、エンジニアリング、法律、経営、観光など幅広い分野をカバーする11学部と、大学院がある。この中には英語でビジネス

願いを書き込んだ短冊を手笑顔の留学生



浴衣姿で日本の夏

国際交流七夕パーティー

7月9日、生田キャンパス国際交流会館で七夕パーティーが開催された。本学に短期留学している学生らが浴衣姿で日本文化に親しんだ。

8月まで滞在中の10大学44人の留学生のほか、専大生も多数参加。留学生は浴衣を着て短冊に願い事を書いたり、かき水を作ったりして日本の夏を楽しんだ。

米国・オレゴン大学のラロンデ・ゾーイさんは、「初めて浴衣を着た」と意気込みを語った。

チェ・ジンデさんは「専大生や他の国の留学生と一緒に暮らす国際交流会館での生活は楽しい。この1カ月間で、日本文化を理解していき

チェア募金 ご協力をお願い

2020年春、靖国通り新校地に新校舎が誕生します。新校舎の教室で使用する椅子の調達にご協力いただく「チェア募金」を募集いたします。学生の学びを支えるため、募金へのご協力をお願いいたします。

- 募集期間**
2018年8月1日～2020年3月31日
- 寄付金額**
1口 10,000円

新校舎完成後、頂いたご寄付をどの教室の椅子の購入に充てたかを明示した「チェア募金報告書」をお送りいたします。

お問い合わせ

専修大学募金局 TEL:03-3265-3157
詳細は、専修大学ホームページをご覧ください。
https://www.senshu-u.ac.jp/about/donation/



お知らせ
「ニュース専修」の次回発行は9月号(9月15日発行)です。
最新情報は大学ホームページ、公式twitter、Facebookでご確認ください。